

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%			○		
算数	63.4%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%		○			
情報の扱い方に関する事項	86.9%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考察】

- 授業において、互いの考えを伝え合う活動を多く取り入れた結果、話を整理、分類しながら相手に分かりやすく伝えたり、相手の考えを正しく聞き取ったりすることができるようになってきました。
- 「読むこと」の領域では、人物像を正しく読み取る問題に誤答が見られました。登場人物の行動や会話、様子を表している叙述や表現に着目しながら、書かれている内容を正しく読み取る力を伸ばしていきます。また、教科書以外の文章を読む機会を増やし、日常的に読解力の育成を図っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%					○
図形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%		○			

【考察】

- 「数と計算」の領域では、これまでに継続して取り組んできた音声計算やタブレット端末によるドリル学習 学年末の計算コンクールの取組により、知識・技能の定着が図られてきました。
- 「図形」の領域では、直方体の見取り図や角柱の面についての問題で、誤答が見られました。今後は、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の性質について筋道を立てて考察する活動を取り入れながら、図形についての理解を深めていきます。